

## 意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【3班】

地区コミ	藤川地区コミュニティ協議会	参加人員	20人			
開催日時	平成26年 1月20日（月） 19:00 ～ 20:20					
開催場所	藤川地区コミュニティセンター					
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当	議員名	出欠	担当
	中島 由美子	○	司会・進行	川添 公貴	○	
	橋口 博文	-		森満 晃	○	報告書作成
	森永 靖子	○				

### 意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

#### 1 ゴールド集落の支援について

##### 《意見交換の概要》

- ◆ 当地区では、8自治会中4自治会がゴールド集落であり、年々高齢化が進んでいるのが現状である。そうした中、山村であるがゆえに市道の延長も長く、道路愛護作業にも困難をきたしている。市の失業対策事業などを使って、支援できないか？
- ◇ 本市で作成しているゴールド集落への支援事業に関する資料を参加者に配付して、あらためて事業内容について説明する。東郷町本俣地区のボランティアグループ活用や、臨時雇用対策事業の事例等を説明する。道路愛護作業など、人数的にもどうしても大変な部分は担当課へ相談していただきたい。

##### 《主な要望等》

- ◆ 若い地区民が1～2人増減することで、ゴールド集落の定義にあてはまらないというケースがあり、ゴールド集落の線引き上にある場合の支援も検討していただきたい。

#### 2 山林の有効活用について

##### 《意見交換の概要》

- ◆ 当地区でも38町歩程度の山林を保有しているが、なかなか手入れが行き届かず、また木材の価格も低迷しているため、今後の取り扱いに苦慮している。市の雇用促進策として伐採し、バイオマス発電業者に売却するか、第3セクター等でバイオマス発電のプラントを作って発電事業を行えないか？
- ◇ バイオマス発電事業の概要と本市の取組の現状について説明する。未利用の間伐材であるという証明、山林の伐採から発電までの1サイクルを確立すること、環境問題など、これから行政や森林組合、民間など関係団体と連携し、協議がなされることから、当地区の要望等を踏まえ、各担当課と連携していきたい。

##### 《主な要望等》

- ◆ 地元でバイオマスの発電事業が開始されるので、藤川地区でなくても薩摩川内市の山林から優先的に間伐して森林の利用価値を上げる道筋をつくってもらいたい。
- ◆ 農業用ハウスなどの暖房用の木質チップボイラーとしての利活用について情報がほしい。

### 3 小・中一貫校設置の早期実現について

#### 《意見交換の概要》

- ◆ 平成27年度開校を目標にスタートした東郷地域小・中一貫校設置の取組が遅れている。早期実現と、合併までの間の通学区域の特例措置適用、並びにその間の地区外からの通学する児童に対する支援をお願いしたい。
- ◇ 東郷地域小・中一貫校設置の取組が遅れているのは、財政面である。
- ◇ 東郷地域において、平成27年度からの小・中一貫校の開校までの、地区外からの通学（特認校制度の継続要望）については、平成26年度中に検討することとしている。

#### 《主な要望等》

- ◆ 平成27年度開校の遅れは、市側にあつて東郷地域に責任はないはずである。よって地区外からの通学の希望があれば、特認校制度の継続要望は当然だと思う。

### 4 その他

#### 《要望等》

- ◆ 清流館のところに小水力発電の工事が進められているが、地元にも具体的な内容を説明してほしい。また、清流館・小水力発電だけではなく、総合的に地区の活性化につながるような取組をお願いしたい。
- ◇ 説明会の開催と要望を伝える。
  
- ◆ 閉校跡地利用の具体的な内容が決定しているか。
- ◇ 決定していない。閉校跡地の利用に関しては、地区の方々のご意見・アイデアをお聞きしながら今後、進めていく。